

3-B-b 現役アカマツの巨木

■現役アカマツの巨木評価

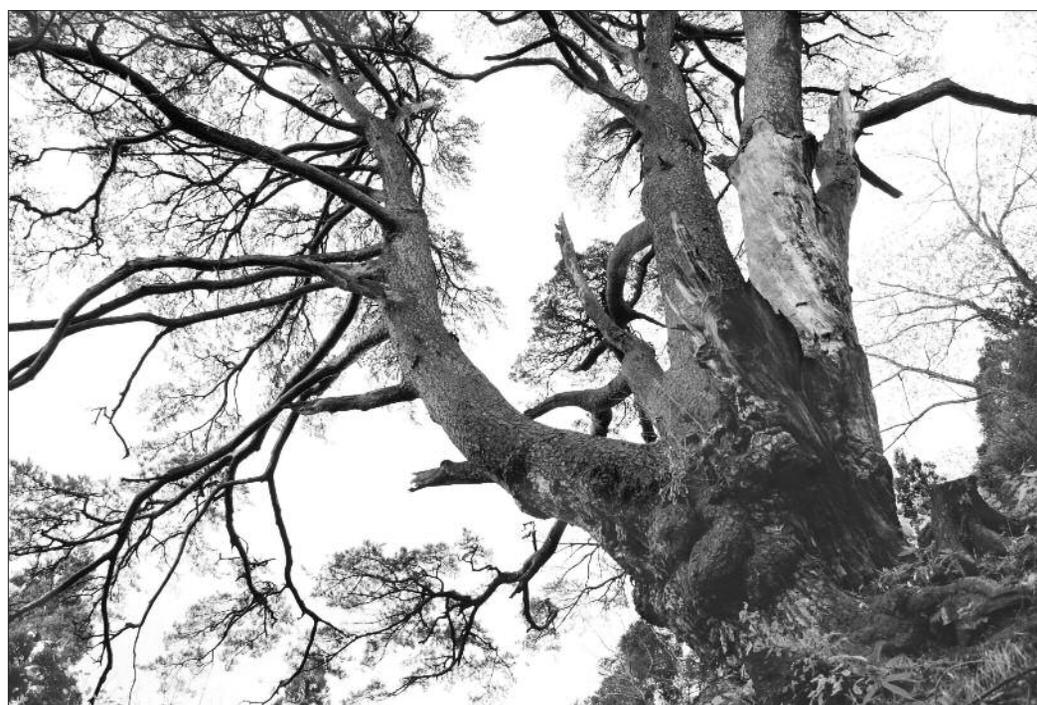
- A 幹周おおむね 7m 以上の一本松、同等評価のアカマツの巨木。
- B 幹周おおむね 5～7m の一本松、同等評価のアカマツの巨木。
- C B 評価以下のアカマツの巨木。

2015 年現在

評価 AA 国指定特別天然記念物級 A 国指定天然記念物級 B 都道府県指定天然記念物級 C 市町村指定天然記念物級

評価	巨木名称	幹周	樹高	所在地	天然記念物指定
A	東法田の大アカマツ 写真 AM-006	M7.1m(0.3m 2012)	22m	山形県最上郡最上町東法田字東山	県
B	奥大野のアカマツ 写真 AM-007	M5.35m(1.3m 2009)	21m	徳島県美馬郡つるぎ町一字奥大野	町
B	天空の松 写真 AM-008	5.34m(0.7m)	31m	秋田県大館市大滝温泉	なし
C	蛇王の松 写真 AM-009	M4.92m(分岐 0.3m 2012)	22m	青森県三戸郡田子町田子椈山	町
C	馬場山のアカマツ 写真 AM-010	M5.56m(上部 0.7m 2008)	28m	青森県青森市浅虫馬場山国有林	なし
C	穴沢弾上塚の一本松 写真 AM-011	M4.6m(1.3m 2015)	20m	長野県上田市真田町傍陽穴沢	町
C	階上岳天狗の松 写真 AM-012	6.6m(根元 2 分岐合計)	27m	青森県三戸郡階上町田代字下上	なし
C	からかさ松 写真 AM-013	M6.1m(分岐 0.7m 2008)	16m	長野県茅野市宮川字高部	市
C	満沢のアカマツ 写真 AM-014	6.0m(分岐膨らみ部分)	23m	山形県最上郡最上町満沢字合ノ山	町
C	普門院山門の笠松 写真 AM-015	5.3m(2 分岐膨らみ部分)	25m	宮城県本吉郡南三陸町入谷	なし
C	石神のアカマツ 写真 AM-016	4.9m	20m	岩手県八幡平市石神	なし
C	五本松 写真 AM-017	4.7m(5 分岐膨らみ部分)	22m	福島県南会津郡南会津町塩江	町

※アカマツの巨木の多くも枯死し、現役の巨木の多くは幹周 4m 以下となっている。本書では割愛する。



◀東法田の大アカマツ全景



写真 AM-006
日本一のアカマツ
ひがしほうでん おお
東法田の大アカマツ

3m程で4分岐していたが、2012年、4分岐の内、一本は破損、一本は白骨化。2本が生き残っていた。枯死寸前の大松である。



写真 AM-007
おくおおの
奥大野のアカマツ

八面山登山口から山道を20分登ると尾根に立つ。5mで3分岐し、樹勢は旺盛だ。西日本のマツの巨木が全滅する中、このアカマツは隔離されたように存在し、松食い虫の被害から逃れているようだ。幹周こそ日本一のアカマツに及ばないが、一本松であり、堂々とした姿はやがて日本一になる資格を備えている。



▲写真 AM-008

てんくう
天空の松

大滝温泉から林道を登ると、樹木を刈取った巨大な空間に聳えている。地上3mで三分岐している事から「三頭木」と呼ばれ、神が宿るとされる。根元には山の神が祀られている。もともと「親松」と地元で呼ばれていたが、公募で名前を募って決定した。巨木DB幹周5.75mは、山側1.3m地点の測定値。本来の幹は根元のくびれた部分。

(写真・Web画像)



写真 AM-009▶

じゃおう
蛇王の松

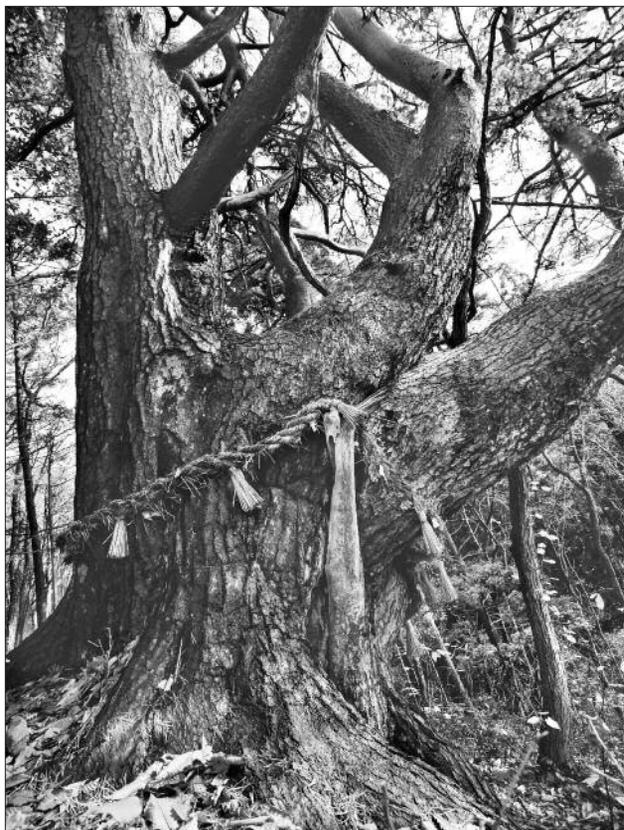
地上1.5~2.5mで3分岐する樹形。巨木DB6.88mは1.3m地点の測定値。実際の幹は根元のくびれた部分。

▼写真 AM-010

ばばやま
馬場山のアカマツ

地上1.5~2mで4分岐する樹形。巨木DB6.6mは、山側1.3mの測定値。

本来の幹は根元近くのくびれた部分である。



▼写真 AM-011

あなざわだんじょうづか
穴沢弾正塚の一本松

集落を見下ろす高台に立つ見事な一本松である。

